

整理番号:5-1

提言題名:乗車者ゼロのコミュニティバスについて

**【提言の要旨】**

乗車者ゼロのコミュニティバス運行継続と市予算における温暖化対策との齟齬  
(令和4年4月受付)

**【回答の要旨】**

日頃より、当市の交通政策行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度の市政に関するご提言につきまして、回答させていただきます。

コミュニティバスは公共交通として、市内全域をなるべく網羅するようなルートで運行していることから、利用者が非常に少ない区間が一部ございます。そのデータは、バス停ごとの乗降者数を運転手が毎日記録しているもので、当方においても運行事業者からの月例報告の中で実態は把握しております。

全体としては、令和2年度のコミュニティバスは年間約12万人の方にご利用いただきましたが、環境や市財政を鑑み、常に効率化・合理化の検討は行っていくべきものとして考えており、現に平成27年のルート・ダイヤ改正においては、前述の乗降者数のデータを考慮して、利用の少なかったバス停やその区間の廃止を行わせていただきました。

今後もルート・ダイヤ改正の際には、データを公表し、市民のみなさまのご理解をいただきながら、持続可能なバス運行に向けて効率化・合理化を図ってまいります。

また、その一方で、コミュニティバスが走っていない地区の方々から、バスルート延伸を求める声や、走っている地区においても増便を求める声を多数いただいております。そういった声に対しては、地区特性や利用見込みを考慮しながら、先の回答でも述べたとおり市域全体の公共交通網の再編の観点から検討してまいります。そして、その際には環境や市財政に過大に負担とならないようバランスをとることを心がけてまいります。

この度は貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも、市政にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(都市計画課 令和4年4月回答)